日本ホテル(株)が参加する「mottECO 普及コンソーシアム」と 「全国おいしい食べきりネットワーク協議会」が食品ロス削減推進に関して共同宣言

日本ホテル株式会社（豊島区西池袋 1-6-1 代表取締役社長 三林宏幸）が参加する、食べ残し持ち帰り推進の産官学アライアンス「mottECO 普及コンソーシアム」は、「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」と食品ロス削減の推進に関する共同宣言を行いました。

【共同宣言主旨】

「mottECO 普及コンソーシアムと全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会は、SDGs や食品ロス削減の推進に関する法律などに基づき、「おいしい食べ物を適量で残さず食べきる運動」をはじめ、食品ロス削減の推進を図るため、連携・協力し、積極的に取り組む」

【共同宣言事項】

- 1 食べきり運動の普及・啓発
- 2 食べきり運動推進に関する取り組みの企画・立案
- 3 食べきり運動推進に関する取り組みの情報発信
- 4 その他食品ロス削減の推進を図るための活動

【主な連携内容】

「食べきり運動」と「mottECO 事業」の連携による啓発

【共同宣言日】

令和7年3月28日（書面による共同宣言）

「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」とは

- ・平成28年に福井県の呼びかけで設立。
- ・「食べきり運動」の趣旨に賛同する地方公共団体によるネットワーク。
- ・広く全国で「食べきり運動」等を推進し、以て3Rを推進すると共に食品ロス削減を目的としている。
- ・設立以降、毎年10月30日に「食品ロス削減全国大会」を消費者庁・環境省・農林水産省の共催の元で、開催自治体と共に主催している。

【会長】 崎田裕子氏（3R・資源循環推進フォーラム副会長）

【会員数】 47都道府県 401市区町村（2025年2月時点）

【事務局】 福井県エネルギー環境部循環社会推進課

mottECO 普及コンソーシアム

事業者、自治体、教育機関とその他団体が連携し、食品ロス削減に取り組むアライアンス。mottECO（※）事業を切り口に、「食べ残しをしない」「止むを得ず食べ残したものは、自分の責任で持ち帰り、ごみにしない」という消費行動が当たり前の社会を目指している。

（※）飲食店での食べ残しを消費者が自己責任で持ち帰る行為

参加 29団体（2025年2月時点）：株式会社セブン&アイ・フードシステムズ、ロイヤルホールディングス株式会社、SRSホールディングス株式会社、日本ホテル株式会社、株式会社京王プラザホテル、株式会社アレフ、東京都台東区、ホテル日航つば、東京農業大学、株式会社オークラ ニッコー ホテルマネジメント 名駅事業所、株式会社いっちょ、立命館大学食マネジメント学部、株式会社名鉄ホテルホールディングス、東京都多摩市、株式会社ダイナック、城山観光株式会社、康正産業株式会社、株式会社芝パークホテル、blancjapan 株式会社、株式会社トリドールホールディングス、レンブラントホテル、株式会社大戸屋、穴吹エンタープライズ株式会社、一般社団法人食品ロス・リボンセンター、マイボックス普及企業組合、公益財団法人かごしま環境未来財団、外食懇話会、株式会社キリンシティ、株式会社グルメ軒屋レストラン（加盟順）

日本ホテル株式会社は、今後も消費者とともに食品ロスを減らす取り組みを一層強化し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

■本ニュースリリースに関するお問い合わせ先

日本ホテル株式会社 マーケティング部 TEL 03-6912-6741 e-mail:pr@nihonhotel.com
〒171-8505 東京都豊島区西池袋一丁目6番1号